

## e-ビーフNEWS 北の牧場から

July 2018

## 十勝のエゾ梅雨

北海道には梅雨がないと巷では言われています。今時期は内地では梅雨前線が居座り、雨が降り続くはずが、各地で猛暑日を迎えています。早めに梅雨に入った分、開けるのも早いようです。その前線が北上し、東北北海道にかかり愚図ついた天気が続いています。これがいわゆるエゾ梅雨です。

牧草は、5月に好天が続いたせいか成長が速く、一気に穂まで伸びました。牧草刈り取りも例年より1週間早かったのですが、天候が急転。せっかく刈った牧草も、「雨当たり」で品質が落ちてしまいました。寒暖の差も大きく、日中は例年以上に上がり真夏日を迎えますが、朝方の気温がひとケタ台と低すぎます。積算温度が必要なデントコーン(牛用トウモロコシ)の生育も今一つでまだ15cm。一部黄色に変色してきました。お天道様にお祈りするしかありません。放牧した牛達は、おいしい春先の草を食べています。



## 活動のお知らせ

- 6月2日(土) 帯広 ランチョ・エルパソ 10:00~13:30  
第19回定期総会&肉牛飼養技術研修会 e-ビーフ試食・意見交換会  
6月2日(土) 帯広畜産大学 アニマルウェルフェア検討会



## NEWSばか読み

- 大手コメ卸 副産物の米ぬかで米油生産拡大 健康志向の高まり  
6/1:副産物の価値観
- 福島県飯館村 原発事故後の初繁殖牛放牧実証試験始まる  
6/1:あれから7年
- 世界牛乳の日 牛乳消費キャンペーン始まる 6/1:飲まないで
- 全国子供食堂運営者で保険加入のクラウドファンティング開始 6/1:応援
- 人口動態統計2017 出生数96.4万人死亡数134万人  
6/2:減っているじゃないか
- 婚姻60万6千組男性平均31才女性平均29才 6/2:婚活が日本の将来
- 中国で完全口ボレストラン拡大競争 6/2:何か進んでる?
- 全国のため池廃止が進む 老朽化管理者減で  
6/4:資源災害にならねばいいが
- 北海道 NZの協力でめん羊生産拡大 輸出も視野  
6/4:まず北海道ジギスカン
- 独バイエルン 米モンサルトの買収完了 超農薬種子会社に 6/4:動向注視
- 帯広の気温 全国今季初34℃記録 6/5:燃えてるね
- 農林水産省 死亡牛BSE対象月齢を48から96ヶ月齢に引上げ  
6/6:実態把握
- 総務省 4月家計調査 支出1.3%減で消費動向に弱さ 6/6:笛吹けど踊らず
- JA全農グレイン 米国の日本向け穀物貯蔵施設拡張  
6/7:日本一配合飼料メーカー
- 5月和牛子牛相場 77万円今年最安値 肥育農家の資金繰り不安  
6/7:コスト割れ

- 豚肉相場高騰700円弱 PED影響 6/8:牛相場追い抜け
- ブラジル鶏肉 ストの影響で価格高騰気配 6/8:何でも要因
- 農林水産省 農林水産品輸出4月20%776億円 6/12:伸び継続課題
- 小売スーパー 春先野菜高騰でカット野菜売場広げる  
6/12:商品形態が変化
- 介護食品で業務用の冷凍食品需要が伸びる 6/12:高齢者給食
- 長野JA佐久・マルイチ産商 豪州産輸入F1素牛でブランド 6/12:素牛高騰
- 農林水産省 カナダ産小麦輸入停止 無認可GM混入の恐れ 6/16:GM波及
- 改正卸売市場法が成立 民間企業の参入可能 6/16:よし悪し確認
- 乳牛輸入 5月豪州産625頭単月では最多  
6/16:輸入素牛相場相当で本格化
- 健康ブームでジム・ウェア各社軒並み好調 6/17:食品も乗れるか
- 岐阜飛騨ミート 豪州向け牛肉輸出施設第一号認定 6/18:需要喚起
- ドラッグストア 小売業界で大幅な伸び 医薬品化粧品の利幅大  
6/19:食品は課題
- スーパー各社 品目6割で値下げ傾向 6/20:実需実態
- 病院のリハビリ治療・福利施設で農作業取り入れ動き広がる  
6/20:農業癒し系
- 道内外外国人実習生23%伸び ベトナムが首位 6/20:必要不可欠に
- 農林水産省 障害者生産農産物にJAS創設の動き 6/22:どのように把握
- 国連報告 干ばつなどの異常気象で栄養失調者8億人に 6/22:大きいね
- GM作付面積インド・パキスタン・ブラジルで拡大 トウモロコシ・大豆90%以上は米国・ブラジル・アルゼンチン 6/27:畜産大国だね
- カナダGM混入小麦の育成先はモンサルト 6/27:大企業の既成事実化
- アルゼンチン パタゴニア地方の牛肉羊肉輸入解禁 6/29:畜産大国

## 東京直近NEWS (6/29 Shi-REPORT)

**ホルス** 7月枝肉相場は前月と横ばい程度で推移。絶対頭数の不足から相場は高値維持している。

販売については、外食系からの問い合わせが引き続き強く、ロインは引き合い強く欠品が続いている。逆に赤身やそれ以外の部位は急激に引き合い悪化してきており、特にスネやカタローは需要が弱く値崩れしてきている。7月は学校も夏休み入り需要はさらに悪化する可能性があり需要低迷が加速する恐れあり。

**経産牛** 経産牛相場は高値安定状況。出回り頭数が少なく、例年よりも少ない傾向との情報。ガリ枝も@500以下の発生皆無になってきている。販売は赤身パーツロインは欠品しており、不足状況。挽き材については、販売は大きく変わっていないが産地の処理頭数が減少しているために、在庫は少なくなっており玉は不足し始めている。7月いっぱい出回り頭数が少ないとの予測が多く、今後の枝肉相場が部分肉のコストにダイレクトに直結する恐れが強い。

# 左先生の畜産学研究NEWS

ジビエは狩猟で食材として捕獲された野生の鳥獣を指すフランス語で英語ではGame meat です。日本ではキジ、野ウサギ、シカ、イノシシ、クマなどが該当します。北海道ではエゾシカがその代表で、2012年にその生息数は推定59万頭、エゾシカの食害で牧草やトモロコシなどの農作物の被害は63億円に上りました。道ではハンターの高齢化と減少で有害鳥獣駆除が進まずエゾシカ駆除に最大18,000/頭の補助金を払う策を立てました。最近のジビエブームでシカ肉は大きな食材ですが、エゾシカ肉の食用有効活用は狩猟・駆除頭数の約11~13%と僅かです。シカ肉は捕獲・食肉処理時のストレスで肉色の劣化、異常肉質の発生(DFD)が起き易く道総研・環境科学研究センター(札幌)が捕獲法や処理法のマニュアル化、ガイドラインの作成に着手しました。頭部や首などの急所を狙った銃撃と直後の放血。罠捕獲後の暴動抑制と拘束時間の短縮化。などの短時間処理の技術普及により、鉄分の多いヘルシーな赤肉としてのエゾシカ肉のブランド化と農作物の食害防止が狙いです。エゾシカ肉事業に北海道は1.2億円の事業費を計上しています。e-ビーふNews55号の学術情報は前号に続き、日畜大会124回講演要旨、「畜産技術」#757、からです。

## 1. 日本畜産学会第124回大会講演要旨(2018.3.28~30) 東大弥生キャンパス公開シンポジウム「畜産物の質的保証: 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて」

### (1) 「2020年東京オリンピック・パラリンピックの畜産物の調達基準に関連した取組」関川寛巳(農水省生産局畜産部)

この取組では、選手村への食材調達に持続可能な生産活動からの食材という条件が付き、これに対し日本GAP協会によるJGAP家畜・畜産物などの活用で対応し、日本畜産の競争力強化を図ります。

### (2) 「畜産に関するGAP認証制度「JGAP家畜・畜産物」について」荻野宏(一財 日本GAP協)

東京2020大会の食材調達基準は日本版畜産GAPで対応可能となりまし

た。日本GAP協会が開発したJGAP家畜・畜産物には飼養衛生管理基準の遵守、アニマル・ウェルフェアや人権・福祉と労働安全などを含む110の管理点があります。

### (3) 「ハラール認証と流通・販売-和牛輸出に向けて-」小澤壮行(日獣生科大)

和食の畜産食材の海外進出には世界人口の26%を占めるともいわれるイスラム社会のハラール認証の取得が必要です。わが国のと畜施設の処理法でハラール認証取得は極めて困難とされています。地域ごとに多様なハラール認証を取得した国内の事例などを紹介しています。

### (4) 「畜産物のアニマルウェルフェア認証-国内外の動向-」竹田謙一(信大)

アニマルウェルフェア(AW)は動物が受ける取扱方法ですが、その認証は農場HACCP、放牧認証、GAP認証、有機畜産認証などの一部として扱われてきました。演者はAWを人道的扱いや処理という倫理的側面よりも科学的な総合評価の精密家畜管理学という立場です。

## 2. 畜産技術#757,2018.6

### 国内情報2: 牛ゲノムを活用した新たな育種戦略-2 (2018年座談会: 穴田勝人、大竹匡巳、大山憲二、小林栄治、柴田正貴、杉本喜憲、俵積田守、安森隆則)

畜産技術協会企画座談会、今回は肉牛の産肉能力の育種価評価におけるBLUP法についてです。BLUPは最良線形不偏予測法の略で環境効果や血縁関係などを同時補正して個体の育種価を推定する手法で1970年代に始まり、1990年代に牛枝肉の格付け成績などのフィールドデータを用いた育種価推定に至り、200年末からのGBLUP、ss-GBLUP、そしてSNP情報とゲノミック育種価です。

# 国産牛 NEWS

## 2018年度 国産牛情報予想 全6回シリーズ⑥ マルハニチロ(株) 国産牛肉課 岩崎課長代理

